

令和2年度公共事業再評価諮問地区「**継続**・中止」理由書等

(課名：道路課)

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>道路改良事業 一般国道444号(佐賀福富道路)</p>
<p>継続・中止理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀福富道路は、有明海沿岸地域の都市と九州佐賀国際空港や三池港といった交通拠点との連携を強化する地域高規格道路である有明海沿岸道路の一部を構成している道路である。 ・ また、九州佐賀国際空港の発展、集客圏域拡大に伴う地域や産業の活性化、観光振興が期待され地方創生を下支えする、そして災害発生時は、避難や救急救援物資の輸送など「命をつなぐ道」となる重要な道路である。 ・ さらに九州佐賀国際空港や高度専門医療により県民の尊い命を守る佐賀県医療センター好生館へのアクセスを強化するエリア「Tゾーン」を構成する道路である。 ・ 当初から事業の必要性・重要性は変わっておらず、費用対効果も高い。 ・ 以上のことから、引き続き事業を継続することとしたい。
<p>B/Cの算出方法</p>	<p>【便益】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走行時間短縮便益 = 1,244.4億円 ・ 走行経費減少便益 = 286.2億円 ・ 交通事故減少便益 = 73.7億円 <li style="padding-left: 40px;">合計 1,604.4億円 ・ 事業費 = 686.3億円 ・ 維持管理費 = 13.0億円 <li style="padding-left: 40px;">合計 699.3億円 費用便益 B/C = 1,604.4 / 699.3 = 2.29
<p>備考</p>	

令和 2 年度再評価対象事業 (再評価実施後、一定期間 (5 年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 27 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課)
	再評価 時点 H 2 7	道路改良事業 一般国道 4 4 4 号 佐賀福富道路 事業主体：県 事業地： 佐賀市嘉瀬町中原 ～ 杵島郡白石町福富	有明海沿岸道路は、福岡県大牟田市から佐賀県鹿島市に至る有明海沿岸地域の各都市の交流促進及び佐賀空港と三池港との連携強化を図る約55kmの地域高規格道路である。 そのうち佐賀福富道路は、有明海沿岸道路の一部を構成し、平行する一般国道 4 4 4 号の交通渋滞及び交通隘路区間の回避を目的とした10.5kmの2車線のバイパスを施工するものである。 有明海沿岸道路については、各市町による期成会や協議会の設立、要望活動が行われるなど、早期整備が望まれている。	全体事業費：580億円 工期：H13～H34 事業内容 延長：10.5km 幅員：7.0(10.5)m 【暫定2車整備】 改良工 L=10.5km 橋梁工 4橋(50m以上) 舗装工 L=10.5km 測定 N=一式 用地補償 N=一式	H26末進捗率：49.1% (事業費ベース) (年平均進捗率3.3%) 用地補償契約76.3% 平成23年3月 嘉瀬南IC～久保田IC間のL=1.7kmを供用開始 平成25年3月 久保田IC～芦刈IC間のL=2.8kmを供用開始 県道 江北芦刈線のL=4.0kmを供用開始	交通量の推移 久保田町搦西 H6 14,345台/日(基準) H9 15,937台/日(1.11) H11 15,713台/日(1.10) H17 18,443台/日(1.29) H22 18,842台/日(1.31) 白石町福富 H6 14,908台/日(基準) H9 15,594台/日(1.05) H11 16,342台/日(1.10) H17 18,002台/日(1.21) H22 16,938台/日(1.14) その他社会情勢の変化 ・佐賀福富道路の先線である福富鹿島道路が整備区間に指定 (H17.3) ・(国)有明海沿岸道路の福岡県側は、一部一般道を利用し、平成21年3月に供用開始を行い、随時延伸が行われてきた。 ・H24年度に新県立病院が開院 ・九州佐賀国際空港にLCC就航(H26)	事業採択時と比較して費用対効果要因の大きな変化は見られない。 B/C = 1.94	コスト削減) ・本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト削減を図る。 ・他工事で発生する残土を本工事の盛土等に流用し、コスト削減を図る。 (代替案の検討) ・特になし	再評価実施後5年が経過	継続 (事業課)
	現時点 R 2			全体事業費：580億円 工期：H13～R4 事業内容 延長：10.5km 幅員：7.0(10.5)m 【暫定2車整備】 改良工 L=10.5km 橋梁工 4橋(50m以上) 舗装工 L=10.5km 測定 N=一式 用地補償 N=一式	R1末進捗率：89.7% (事業費ベース) (年平均進捗率4.7%) 用地補償契約86.8% 平成28年3月 芦刈IC～芦刈南IC間のL=2.0kmを供用開始 令和2年(繰越) 芦刈南IC～福富北IC～福富IC間のL=3.5kmを供用開始予定	交通量の推移 久保田町搦西 H27 14,823台/日(1.03) 白石町福富 H27 16,150台/日(1.08) 道の駅しろいしが令和元年6月1日にオープンした (国)有明海沿岸道路の大野島IC迄を令和2年度に、諸富IC迄を令和4年度に供用予定 九州佐賀国際空港ターミナルビルの拡張完了予定(R2) 佐賀県の人口は減少しているものの、核家族化等により世帯数は増加傾向にあり、自動車保有台数についても増加傾向となっている。 また、公共交通機関が充実していない本県においては、移動手段として、自動車に頼らざるを得ない状況であり、自動車への依存度は高い。	将来交通量推計の増による費用対効果の増 B/C = 2.29	同上	再々評価実施後5年が経過	継続 (理由) 当該箇所の事業の必要性に変化はなく、産業・観光振興、交通の円滑化、交通安全の向上、災害時の緊急輸送道路や代替道路としての機能確保を図るため、事業を継続したい。

